上井草 碁盤坂

かみいぐさごばんざか

上井草商店街付近には、見通しのよい一直線の坂道がいくつも平行にならんでいます。坂が多いのは、武蔵野台地の中程を通る標高 50m の等高線が、この辺りにも関わっているためです。

一方、道が広くてまっすぐなのは、むかし上井草が「井荻村」という名の近郊農村だった頃に、村長の内田秀五郎が実施した区画整理事業の成果。農業振興のためには道路整備が急務と考えた秀五郎は、昭和十年に、十年がかりでこの事業を完成させました。

自然が造り出した起伏豊かな地形と、碁盤の目のように整然とした道路網が織りなす景観は、この地域を特徴づけるものです。上井草碁盤坂を歩いて、この地域の歴史・風土を確かめて下さいね。